



橋戸

令和8年1月8日
学校だより 第9号
練馬区立橋戸小学校
校長 青木俊一

次の一步へ「愚」

校長 青木俊一

新年あけましておめでとうございます。令和8年の輝かしい幕開けをご家族で健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

正月の風物詩といえば「箱根駅伝」です。駅伝史上初、2度目の3連覇。「シン山の神」の誕生と複数の選手による区間記録更新。復路繰り上げスタートにも関わらず、シード権獲得など。様々な記録が話題となり、選手たちが懸命に襷をつなぐ姿に多くの感動を覚えました。

箱根駅伝の襷は、単なる布の輪ではありません。そこには、共に厳しい練習を乗り越えてきた仲間たちの汗と涙、そして「次を待つ仲間のために一秒でも早く」という、目には見えない強い「思い」が凝縮されています。選手たちはその「襷の重み」を背負っているからこそ、限界を超えた力を発揮できるのでしょうか。

さて、いよいよ3学期が始まりました。3学期は次の学年の「0学期」ともいわれています。今学年の学習や生活を締めくくる「1年間のまとめ」の時期です。それと同時に、今の学年から一つ上の学年へと、自分たちの役割や良き伝統を引き継いでいく時期でもあります。

1年生から5年生は、それぞれ一つ上の学年という次の区間へ向けて、心と体の準備を整える大切な助走期間に入ります。また、6年生は、最高学年として学校をリードしてきた「責任」と「校風」という襷を、5年生へと手渡す準備を始めます。この1年間で培ってきた「思慮深さ」「思いやり」「たくましさ」といった素晴らしい宝物を、自分たちの中だけで終わらせるのではなく、ぜひ後輩たちへのメッセージとして行動で示してほしいと願っています。一人一人が見せる一生懸命な姿や、何気ない思いやりのある行動が、そのまま次の学年へとつながる「見えない襷」となるのです。

私たち教職員一同も、子供たちがこれまでの歩みに自信をもち、誇りをもって次の一步を踏み出せるよう、この「0学期」を並走し、寄り添い、支えてまいります。本年も、本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。